

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和6年度 第13号 R7.3.11(火)



あの日を忘れず防災を考えよう

藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「送別式・歌声の響く学校♪」

3月4日(火)の5時間目に生徒会主催の送別式が行われました。

本校の卒業式では在校生は代表のみの出席となります。そのため送別式は全学年が集う最後の場になりました。

担任に引率され、拍手の中、入場する卒業生は堂々としていました。生徒会や部活動代表からの挨拶、学年合唱は1年生も2年生もよく声が出ていて、素晴らしかったです。それにもまして3年生の合唱の仕上がりは感動的で、最上級生の素晴らしさを再認識しました。

その後、何人かの3年生に合唱の出来は10点満点中何点かと聞きました。すると、ほとんどの生徒が6点から7点と答え、「本番はもっとできます。」と頼もしいことを言ってくれました。卒業式はどんな歌が聴けるのでしょうか。とても楽しみです。

一昨年までコロナ感染症などの影響で、全学年が集う送別式を見合わせていたのですが、本来の本校の文化である「歌声の響く学校」が完全に復活したと言えます。とても嬉しいことです。

合唱は、伴奏と一人ひとりの声や気配を感じながら、指揮者がそれをまとめ、声を重ねて作り上げます。失敗しても受け入れてくれる集団でないと思いついて声を出すことは難しいため、「集団の姿」が如実に現れます。どの学年も良い集団ができていると思います。

1年生も3月12日に合唱コンクールを実施します。頑張ってくださいと思います。

「もうすぐ卒業」

3年生が卒業を目前に控えお別れ会を開きました。有志でダンスや漫才を披露するなど、とても和やかに、名残惜しそうに、生徒も先生も一体となって楽しんでいました。

最近、この学年が1年生だった時の事をよく思い出します。本当に幼かった生徒たちが、こんなに立派に成長してきたことに、日々の積み重ねを感じます。朝の挨拶で、2年生のころは険しい表情で心配していた生徒が、今では元気よく向こうから挨拶してくれます。また、ある3年生が「三中に来てよかった」「いい学年でよかった」と言ってくれました。最高の誉め言葉です。

卒業まであと少し。みんなで過ごせるこの時間を大事にしてほしいです。

「学習の効果」

先日、「脳トレ」を開発した脳科学の研究者で「スマホはどこまで脳を壊すか」の著者でもある、榊浩平さんと会い、「対面での勉強」と「オンラインでの勉強」の効果の違いについて話す機会がありました。

明らかに対面の方が効果は高く、さらに紙に書くことや対話することで脳が活発に動き、しっかり頭に残るのだそうです。「これから学校教育の在り方が変わっていても、場としての学校の値打ちは変わらないだろう」と仰っていました。各学年の合唱コンクールの取り組みを通じた活動や、廊下・玄関ホールに飾られた手書きのメッセージなども一つの対話です。日々の学校教育活動のすべてが、「三中という場」の価値だと思います。

このところ、学年末テストや、3年生の入試などもあったので、お昼の校内放送「三中 RADIO」のテーマは私の勉強法や「脳科学」「認知」の話題がよく出ています。生徒たちも興味があるようです。